

科目ナンバー	GLS-1-014-sn			科目名	ブルガリア・ルーマニアの文化と生活A		
教員名	木村 真、松本 学			開講年度学期	2020年度 前期	単位数	1
概要	海外研修の事前学習として、グループ作業を通してブルガリアやルーマニアの言語・文化・歴史について学習する。ゲスト講師による特別講義も予定している。						
到達目標	ブルガリア・ルーマニアの文化や歴史について学生自身で調べ、また人々との交流の中から学ぶことで、異文化に対する理解を深めると同時に、現代のグローバル社会に必要な国際感覚を養う。						
「共愛12の力」との対応							
識見	自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力		
共生のための知識	○	自己を理解する力		伝え合う力	○	分析し、思考する力	
共生のための態度	○	自己を抑制する力		協働する力	○	構想し、実行する力	
グローバル・マインド	○	主体性		関係を構築する力	○	実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	数人のグループごとにブルガリア・ルーマニアの言語・文化・生活・歴史のなかからテーマを決め、グループ作業を通してそのテーマについて調べてまとめる。また、グループ作業でまとめたことを授業内で発表する。このほかに、ブルガリア・ルーマニアの言語・文化・歴史に関する簡単な講義やブルガリア語とルーマニア語のレッスン(キリル文字・発音・挨拶表現)も行う。ヴェリコ・タルノヴォ大学学生とのフェイスブックを用いた交流も予定している。						
アクティブラーニング	○	サービスラーニング		課題解決型学修			
受講条件 前提科目	グループ作業や現地学生との交流に積極的に参加する意思をもっていること。						
アセスメントポリシー及び評価方法	平常点(20%)・課題(40%)・定期試験(40%)で総合的に判断する。						
教材	必要に応じて配布する。						
参考図書	柴宜弘ほか編著『新版 東欧を知る事典』(平凡社)柴宜弘編著『バルカンを知るための66章(第二版)』(明石書店)六鹿茂夫編著『ルーマニアを知るための60章』(明石書店)柴宜弘著『図説 バルカンの歴史』(河出書房新社)そのほか、必要に応じて授業中に指示する。						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	ガイダンス						
授業外学修内容	ブルガリア・ルーマニアについて関心のあるテーマを考える。					時間数	0.5
2週目							
授業学修内容	ブルガリア・ルーマニアの概説、グループ企画立案、ブルガリア語・ルーマニア語レッスン(どんなことばなの?)						
授業外学修内容	ブルガリア・ルーマニアについて関心のあるテーマを考える。					時間数	0.5
3週目							
授業学修内容	グループ作業1(グループ内で互いに調べてきたことを持ち寄って披露しあい、意見交換をする)、キリル文字レッスン1(概要)						
授業外学修内容	グループの自分の分担部分について大学図書館やインターネットなどを用いて調べてくる。					時間数	1
4週目							
授業学修内容	グループ作業2(前回調べたことに加えて、新しく調べてきたことを持ち寄って披露しあい、意見交換をする。中間発表に向けて、プレゼンテーションの準備や作業分担を行う。)、キリル文字レッスン2(A-O)						
授業外学修内容	グループの自分の分担部分について大学図書館やインターネットなどを用いて調べてくる。中間発表のためのプレゼンテーションの準備を行う。キリル文字の復習をする。					時間数	1
5週目							
授業学修内容	中間発表(パワーポイントなどを用いて、各グループが取り上げるテーマについて紹介し、現段階まで調べてまとめたものの途中経過報告を行う)、キリル文字レッスン3(П-Я)						
授業外学修内	中間発表のフィードバックから改善点を見つける。キリル文字の復習をする。						

容		時間数	1
6週目			
授業学修内容	グループ作業3(中間発表でのフィードバックをもとに改善を加えながら、調べたりまとめたりする作業を続ける)、キリル文字レッスン4(実践編:書いてみよう)		
授業外学修内容	最終発表に向けて、大学図書館などで調べたり、まとめたりする作業を続ける。 。キリル文字の復習をする。	時間数	1
7週目			
授業学修内容	グループ作業4(プレゼンテーションを最終的な形にまとめたり、プレゼンテーションでの役割分担を決定する)、キリル文字レッスン5(実践編:読んでみよう)		
授業外学修内容	最終発表のプレゼンテーションの準備をする。キリル文字の復習をする。	時間数	1
8週目			
授業学修内容	最終発表(パワーポイントなどを用いて、グループごとに調べてまとめたことを発表する。最終発表でのフィードバックをもとに改善作業を行い、後日提出すること。)、ブルガリア語レッスン1(挨拶表現を学ぼう)		
授業外学修内容	提出用に発表資料をまとめてくる。ブルガリア語の挨拶表現の復習をする。	時間数	1
9週目			
授業学修内容	ゲスト講師による講演1		
授業外学修内容	ゲスト講師に質問してみたいことを事前に考えてみる。	時間数	0.5
10週目			
授業学修内容	講義1「ブルガリアとルーマニアの言語と文化」ブルガリア語レッスン2(知り合いになる表現を学ぼう)		
授業外学修内容	ブルガリア語の知り合いになる表現を復習する。	時間数	0.5
11週目			
授業学修内容	講義2「ブルガリアとルーマニアの歴史」ルーマニア語レッスン1(アルファベットを学ぼう)		
授業外学修内容	ルーマニア語のアルファベットを復習する。	時間数	0.5
12週目			
授業学修内容	ゲスト講師による講演2		
授業外学修内容	ゲスト講師に質問してみたいことを事前に考えてみる。	時間数	0.5
13週目			
授業学修内容	行動計画作成1(ブルガリア・ルーマニアでの行動計画を立ててみよう。訪れてみたい場所を書き出す。)ルーマニア語レッスン2(挨拶表現を学ぼう)		
授業外学修内容	ブルガリアとルーマニアそれぞれで訪れてみたい場所について考えてくる。	時間数	0.5
14週目			
授業学修内容	行動計画作成2(訪れてみたい場所について詳しく調べ、まとめる。授業最終日に提出すること。)ルーマニア語レッスン3(知り合いになる表現を学ぼう)		
授業外学修内容	提出用に行動計画をまとめる。	時間数	1
15週目			
授業学修内容	総括(授業を通して学んだことのまとめ、研修に向けた準備)、ブルガリア語・ルーマニア語の復習やまとめ		
授業外学修内容	提出用に行動計画をまとめる。	時間数	1
上記の授業外学修時間の合計		11.5	
その他に必要な自習時間		33.5	

Number	GLS-1-014-sn	Subject	Culture and life of EU		
Name	木村 真(kimura Makoto), 松本 学(Matsumoto Manabu)	Year and Semester	First semester for 2020	Credits	1
Course outline	O	Learn about language, culture and history of Bulgaria and Romania through group work as preliminary study of overseas training. Special lectures by guest lecturers are planned.			